

平成 23 年度第 3 回常務理事会（通信会議）議事録

日 時：平成 23 年 9 月 2 日（金）～9 月 16 日（金）

参加者：

理事長：小西 郁生

副理事長：岡井 崇、落合 和徳

理事：岩下 光利、嘉村 敏治、吉川 史隆、木村 正、上妻 志郎、峯岸 敬、八重樫伸生、
吉川 裕之

監事：岡村 州博、和氣 徳夫

理事会内委員会委員長：海野 信也、吉村 泰典

幹事長：矢野 哲

幹事：上田 豊、梶山 広明、北澤 正文、小林 陽一、榊原 秀也、佐藤 豊実、多賀谷 光、
阪埜 浩司、増山 寿

総会議長：佐川 典正

総会副議長：内田 聡子、清水 幸子

小西 郁生理事長から平成 23 年 9 月 1 日付各役員、学術集会長、議長団、幹事団、委員長あて、平成 23 年度第 3 回常務理事会を 9 月 2 日から 9 月 16 日迄を期間として、通信にて行う旨の通知と通信会議次第（協議事項、報告事項）及び関連資料が送付された。予定通り 9 月 2 日に通信会議が開始され、理事長、副理事長、常務理事の総数 11 名全員が参加した。小西理事長が議長となり、議事録署名人として、理事長及び岡村 州博監事、和氣 徳夫監事の計 3 名が選任された。

I. 協議事項

協議 1：日本医療機能評価機構より、「第 1 回産科医療補償制度 再発防止に関する報告書」が送られてきた。このなかには学会・職能団体への要望事項があり、それについてガイドライン委員会と周産期委員会での検討をお願いしたい。 [資料:協議 1]

岡村 州博監事「概略を読ませて頂いたが、職能団体への要望事項を本学会を主体として検討するのは結構であるが、本筋は補償制度として分娩あたり 30,500 円徴収し、再発防止を目的の一つとしている本制度を運営する日本医療評価機構が本学会に費用も含めて委託し、それに基づき本学会が改善へのアクションプランを立てることであると思う。」

木村 正理事「承認する。付記として、臍帯動脈血 pH>7 以上が 3/7 例、児の多臓器不全の有無についての情報がない、など真に分娩時の asphyxia が脳性まひの原因になったかどうかかわからない例があり、ガイドライン遵守を行っても結果は同じであった事例もあるのではないかと考える。昨今のマスコミ報道ではあたかも対応を変えておれば再発防止できたかのような報道が目立ち、今後の訴訟のきっかけにならないかと危惧する。この辺りを学会できちんと検証して頂きたいと思う。」

吉川 裕之理事「承認する。水上委員長にも伝えたい。」

本協議事項について特に異議なく、全会一致で承認された。

協議 2：日本病理学会から「癌取扱い規約」作成に係る本会との分担、印税の配分、費用負担等について合意文書を締結したい、との申し入れがあった。本会としてもこの提案を受け入れ、同会と協議に入りたい。 [資料:協議 2]

落合 和徳副理事長「承認する。ただし全体の印税に関しては、金原出版の言いなりにならず、少しでも印税収入を増加させるよう交渉しては如何か。」

本協議事項について特に異議なく、全会一致で承認された。

協議 3: 日本婦人科腫瘍学会の社保代表として推薦された渡部 洋先生（近畿大学）、及び周産期委員会 周産期における医薬品・医療機器の諸課題に関する小委員会委員長 竹田 省先生（順天堂大）に、社保委員会委員を追加委嘱したい。

本協議事項について特に異議なく、全会一致で承認された。

協議 4: 第2回常務理事会での議論を踏まえて「これからのエネルギー政策の方向性について」の修正版を作成した。これを本会ホームページに掲載したい。[資料:協議4]

佐川 典正議長「承認する。ただ、下から2行目の『この重要性を十分に考慮される』を削除して、『確保されることを要望いたします』とした方が学会としての要望が具体的で明確になると思う。」

木村 正理事「多数意見に従いたい。個人的には医学系学会がこのようなタイトルの声明を出すことの妥当性について懸念を抱く。特に『エネルギー政策の具体的な内容については本学会が提言すべき領域の範囲を超える』としながら『すべての国民が・・・見解を表明すべきである』という文章は『自分たちは言わないけれどみんなは個人で考えて言ってください』という意味にも取ることができ、解釈が難しい文章だと思う。むしろ、エネルギー政策ではなく今回の原発事故による放射能汚染が重大な不安を引き起こしたことに対する懸念と、『私たちが持っている範囲で必要な情報を精一杯出して情報面で支援して行きます』という決意表明でいいのではないかと、とも思う。議論頂いた上で多数意見に従いたい。」

岩下 光利理事「情報を発信する対象が不明確ではあるが、『わが国のエネルギー政策の具体的な内容については、本学会が提言すべき領域の範囲を超えていると考えられます』の一文を追加したことで、学会の立場をわきまえた声明となり、前の声明文より良くなっている。」

岡井 崇副理事長「木村先生の意見に賛成である。」

海野 信也委員長「ご意見ありがとうございました。木村先生の意見について、この『声明』は原発依存のエネルギー政策についてのものなので、それを外すことは難しいと思う。佐川先生の意見は私も賛同したいところであるが、これまでの常務理事会の議論を踏まえると、今回程度の表現が妥当かと、考えている。原案通り承認頂ける先生も多いようなので、このまま、ということでは如何だろうか。」

小西 郁生理事長「メンバーのコンセンサスが得られたと思う。このままの文章で、本会ホームページの「声明」に掲載したいと思う。」

本協議事項について特に異議なく、全会一致で承認された。

その他:

落合 和徳副理事長「Web 会議と定例常務理事会の棲み分けでの会議の効率的運用を模索しては如何だろうか。月一回の常務理事会ではなるべく Face to Face での協議を行うものに限定し、その他の報告や協議のほとんどなような議題については Web 会議で予め承認を頂いておくなどの工夫により、常務理事会の時間を有効活用して集中審議ができるのではないだろうか。またその他の会議についても Web 会議の利用ができないか検討してみる必要がある。準備する事務局が大変かもしれないが、交通費の削減にも通じる。」

小西 郁生理事長「あらかじめ Web で見ておくのもかなり時間と手間がかかるし、事務局の負担も含めて慎重に比較・検討する必要がある。」

II. 業務担当常務理事報告

1) 総務 (岩下光利理事)

〔I. 本会関係〕

(1) 会員の動向

藤原^{ふじわら} 幸郎^{ゆきお}名誉会員(東京)が7月31日に逝去された(弔電、生花手配済)。

津端^{つばた} 捷夫^{かつお}功労会員(東京)が8月1日に逝去された(弔電、生花手配済)。

安西^{あんさい} 節重^{さだしげ}功労会員(神奈川)が7月1日に逝去された(神奈川学会より8月3日連絡受領)。

(2) 厚生労働大臣あての「子宮頸がん予防ワクチンの公費助成継続と4価HPVワクチンの追加に関する要望書」を日本婦人科腫瘍学会と連名で提出した。[資料：総務1]

(3) 運営委員会の若手医師確保に関するワーキンググループの打合せを第63回学術集会期間中の8月30日に大阪で開催した。

①第5回産婦人科サマースクール参加者に対して、第63回日学術講演会案内メールを発信した(8月22日)。学術講演会への参加ならびにリクルートの一助する予定である。

②今後、サマースクール参加者に第64回学術講演会についても案内する予定である。

(4) 専門委員会

(イ) 生殖・内分泌委員会

①ホルモン補充療法ガイドライン頒布状況について

8月24日現在、入金済5,228冊、校費支払のため後払希望 12冊。

②不妊治療関連新聞記事

8月25日付 朝日新聞記事「自ら排卵誘発注射効果」 [資料：総務1-1]

〔II. 官庁関係〕

(1) 厚生労働省

①厚生労働省医薬食品局審査管理課より、インフルエンザHAワクチンの用量変更に係る周知依頼があり、機関誌及びホームページで会員に周知した。[資料：総務2]

②厚生労働省雇用均等児童家庭局母子保健課より、10年に一度の母子健康手帳改正に関する検討の委員推薦依頼があり、海野 信也先生を委員に推薦した。[資料：総務3]

③厚生労働省健康局結核感染症課と医薬食品局血液対策課より、子宮がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象ワクチンの追加について通知があった。サーバリックスに加えて9月15日からガーダシルも対象となる。[資料：総務3-1]

④厚生労働省雇用均等児童家庭局総務課・母子保健課より、「妊娠・出産・育児期に養育支援を特に必要とする家庭に係る保健・医療・福祉の連携体制の整備について」、総務課・母子保健課・家庭福祉課より、「妊娠期からの妊娠・出産・子育て等に係る相談体制等の整備について」を各都道府県に通知した旨の連絡があり、にホームページ掲載して会員に周知した。[資料：総務4-1、4-2]

〔Ⅲ. 関連団体〕

(1) 日本医学会

- ①第1回日本医学会法人化準備委員会が9月13日に開催される予定であり、本会から岩下 光利理事が出席する。
- ②同会と日本医師会の合同公開フォーラム（テーマ：「放射線と人体」）が10月29日に日本医師会館で開催される。〔資料：総務4-3〕
- ③第141回日本医学会シンポジウム（テーマ：「がん分子標的治療の進歩」）が平成23年12月8日に日本医師会館で開催される。〔資料：総務4-4〕

(2) 日本産婦人科医会

第38回日本産婦人科医会学術集会が10月8～9日に浜松で開催され、小西 郁生理事長が出席する。

(3) 大阪産婦人科医会

同会より「妊産褥婦死亡時における解剖についての要望」が提出された。本学会、医会に対して救急医学会、法医学会、病理学会、警察等の関係機関との調整、議論を進めるよう、要望している。〔資料：総務5〕

(4) 予防接種推進専門協議会

同協議会から厚生労働大臣あてに提出した「予防接種の公費助成に関する要望書」に、本会も連名で参加した。〔資料：総務6〕

〔Ⅳ. その他〕

- (1) 平成23年度第8回ヘルシー・ソサエティ賞の推薦依頼が送られてきた。締切は9月30日である。〔資料：総務7〕

- (2) 横浜市立大学宮城 悦子先生から、本会が推薦した「大切ないのち 子宮頸がんから守る ―早期発見・早期診断・早期治療―」が平成23年度教育映像祭の社会教育部門・家庭生活向で優秀作品賞を獲得したとの連絡があった。

- (3) グラクソ・スミスクライン社から、子宮頸がんワクチン「サーバリックス」について、「現時点では公費助成を受けられる方々への供給を優先し、接種を希望される私費の方々に対する供給に関しては、公費接種の進捗を見た上で再開する」旨の通知があり、これをホームページ（会員専用ページ）に掲載した。〔資料：総務8〕

- (4) 「女性のための漢方セミナー」（平成23年10月25日：梅田芸術劇場〔大阪〕、11月10日：ニトリ文化ホール〔札幌〕、11月30日：岡山市民会館、平成24年3月3日：CCレモンホール〔東京〕）への後援依頼を、セミナー主催者の関西テレビ、北海道文化放送、西日本放送、朝日新聞社から受領した。経済的な負担はなく、これを応諾したい。

以上、総務報告事項については、特に異議なく了承された。

2) 会 計 (岡井 崇副理事長) 特になし

3) 学 術 (峯岸 敬理事)

(1) 学術委員会関連

- ①IS Award 選考委員会を8月29日に開催した。
- ②優秀演題賞選考委員会を8月30日に開催した。
- ③平成23年度専門医認定審査筆記試験問題評価委員会を9月1日に開催した。
- ④学術講演会評価委員会を9月29日に開催する予定である。
- ⑤学術担当理事会、第2回学術委員会を9月30日に開催する予定である。

(2) 千葉大学の田邊 政裕先生から、OSCEにおける産婦人科領域の課題を作成すべきかについて検討依頼があり、理事長及び教育委員会とも協議した結果、「妊婦に対するレオポルド触診法」を課題として加えることになった。

以上、学術報告事項については、特に異議なく了承された。

4) 編 集 (上妻 志郎理事)

(1) 会議開催

- ①9月2日 和文誌編集会議を開催する予定である。
- ②9月30日 第2回編集担当理事会を開催する予定である。

(2) 英文機関誌 (JOGR) 投稿状況 : 2011年投稿分 (7月末現在)

投稿数 572 編 (うち Accept 67 編、Reject 244 編、Withdrawn/Unsubmitted 92 編、Under Revision 91 編、Under Review 76 編、Pending 0 編、Expired 2 編)

(3) 和文誌電子化・オンラインジャーナル化に関して

- ①前期編集委員会で提案のあった和文誌の電子化 (PDF 化) を予定している (12月号発刊後にPDF化し全文を学会ホームページに掲載する)。
- ②上記①とあわせて、オンラインジャーナル化も視野に入れ印刷所と打合せを行った (8月17日)。
- ①②を含め会員の意見を聴取したく、アンケートを取る予定である。

以上、編集報告事項については、特に異議なく了承された。

5) 渉 外 (木村 正理事)

(1) 会議開催

- ①7月29日、常務理事会終了後、第1回渉外理事・幹事会議を開催した。
- ②9月2日、FIGO World Congress 招致について、日本政府観光局 (JNTO) 担当者と木村 正渉外担当常務理事がミーティングを行う予定である。

[FIGO 関係]

- (1) FIGO/Chien-Tien Hsu Fellowship in Gynaecologic Oncology について、FIGO より周知依頼を受領した。本件について本会ホームページに掲載したい。 [資料 : 渉外 1]

[AOFOG 関係]

- (1) AOCOG 2011 (9/23-9/27、台湾 台北市) へ本会から以下の4名を派遣する。

- ・小西 郁生理事長：General Assembly delegate
- ・落合 和徳副理事長：AOFOG Vice President 候補者
- ・木村 正渉外担当常務理事：General Assembly delegate
- ・上妻 志郎編集担当常務理事：Editor-in-Chief, JOGR

[KSOG 関係]

- (1) 8月31日、日韓ジョイントカンファレンスにて、小西 郁生理事長より Yong Won Park KSOG 理事長へ東日本大震災義援金感謝状を贈呈した。

[その他]

- (1) 15th World Congress on Controversies in Obstetrics, Gynecology & Infertility (COGI™) (2011年12月8～11日、於：Hainan 中国) について、COGI Congresses Founder and Chairperson より小西 郁生理事長宛に、本会の参加と endorsement を求めるメールを受領した。協議の結果、辞退することとしたが、本会ホームページの海外学会・研修会スケジュールに掲載し周知に協力する旨回答した。

以上、渉外報告事項については、特に異議なく了承された。

6) 社 保 (吉川裕之理事)

(1) 会議開催

10月21日常務理事会終了後、第2回社保委員会を開催の予定である。

- (2) 外保連ニュース号外「東日本大震災への取り組み Part1」に、吉村 泰典前理事長執筆による本会の取り組みが掲載された。 [資料：社保1]

- (3) 以下の委員が各産婦人科関連学会代表として本会社保委員会へ出席することを確認した。

日本産婦人科手術学会：磯西 成治委員
 日本産科婦人科内視鏡学会：西井 修副委員長
 日本周産期・新生児医学会：橋口 和生委員
 日本女性医学学会：高松 潔委員、若槻 明彦委員
 日本生殖医学会：深谷 孝夫委員

- (4) 9月9日、厚生労働省医療技術評価のヒアリングに、吉川 裕之委員長、西井 修副委員長、久布白 兼行委員、及び平松 祐司岡山大学教授が出席し、「妊娠糖尿病および妊娠時に診断された糖尿病に対する血糖自己測定 (SMBG)」と「腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術」の提案について説明する予定である。

- (5) 本会より外保連を通して厚労省へ提出した平成24年度診療報酬改定提案のうち、新設2項目「腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術」、「子宮鏡下子宮内膜焼灼術」、及び改正2項目「流産手術 1. 妊娠11週まで」、「帝王切開術に早産 (妊娠32週未満) 加算」を、産婦人科が特に要望する項目 (評価A) として厚労省に申告することとした。

- (6) 疑義解釈委員会より平成23年度第1回供給停止予定品目について検討依頼を受領し、本会理事及び社保委員による検討結果を回答した。

以上、社保報告事項については、特に異議なく了承された。

7) 専門医制度 (吉川 史隆理事)

(1) 会議開催

①第3回中央委員会を9月17日に開催する予定である。

(2) 平成22年度専門医認定二次審査について

東京会場(都市センター)と大阪会場(千里ライフサイエンスセンター)で7月30日に筆記試験、31日に面接試験を実施した。

受験者数及び面接試験結果は次の通りである。

受験者数：筆記試験 460名(東京 230名、大阪 230名)、面接試験 404名(東京 204名、大阪 200名)、第2段階に回った人数：東京 6名、大阪 7名。評価会議では東京 2名保留、4名合格、大阪 2名保留、5名合格となった。

(3) 日本専門医制評価・認定機構 [資料：専門医制度1]

専門医研修施設訪問調査について、本年度の調査チーム構成のため各基本領域学会からチーフサーベイヤー2名及びサーベイヤー10名の推薦依頼の書面を受領した。

小西 郁生理事長の了解を得て下記の12名を候補者として推薦したい。

チーフサーベイヤー：	関東甲信越 1名	田中忠夫先生 (慈恵会医科大学)
	東海・北陸 1名	佐川 典正先生 (みたき総合病院)
サーベイヤー：	北海道 1名	金内 優典先生 (北海道大学)
	東北 1名	永瀬 智先生 (東北大学)
	関東・甲信越 2名	榊原 秀也先生 (横浜市立大学)
		山下 隆博先生 (東京大学)
	東海・北陸 2名	梶山 広明先生 (名古屋大学)
		古井 辰郎先生 (岐阜大学)
	近畿 2名	上田 豊先生 (大阪大学)
		南 佐和子先生 (和歌山県立医科大学)
	中四国 1名	増山 寿先生 (岡山大学)
	九州 1名	津田 尚武先生 (久留米大学)

以上、専門医制度報告事項については、特に異議なく了承された。

8) 倫理委員会 (落合和徳委員長)

(1) 本会の見解に基づく諸登録 (平成23年7月30日)

- ①ヒト精子・卵子・受精卵を取り扱う研究に関する登録：44 研究
- ②体外受精・胚移植の臨床実施に関する登録：588 施設
- ③ヒト胚および卵子の凍結保存と移植に関する登録：588 施設
- ④顕微授精に関する登録：511 施設
- ⑤非配偶者間人工授精に関する登録：16 施設

(2) 着床前診断に関する臨床研究申請・認可について

8月19日現在申請235例[承認204例、非承認4例、審査対象外18例、取り下げ1例、照会2例、審査中6例] (承認204例のうち7例は条件付)

(3) 聖マリアンナ医科大学からの『「卵巣凍結保存－休眠原始卵胞活性化－卵巣自家移植－体外受精・胚移植」による新たな不妊治療の開発』の登録申請について通信会議で協議の上、申請書を再提出

頂くよう回答文書を発出した。[資料：倫理 1]

(4) 会議開催

- ①「平成 23 年度第 1 回着床前診断に関する審査小委員会」を 8 月 23 日に開催した。
- ②「平成 23 年度第 1 回倫理委員会」の集合会議を 9 月 12 日に開催する予定である。

以上、倫理委員会報告事項については、特に異議なく了承された。

9) 教 育（八重樫伸生理事）

(1) 会議開催

- ①9 月 30 日に第 2 回教育委員会を若手育成委員会と合同で開催する予定である。

(2) 「産婦人科研修の必修知識 2011」頒布状況について

8 月 24 日現在、入金済 4,895 冊、校費支払のため後払希望 98 冊。

(3) 明治海外派遣（2012ACOG）応募状況

2012ACOG 派遣募集（派遣予定 6 名）に対し 23 名の応募があった（8 月 15 日締切）。
通信による選考委員会を開催している。

以上、教育報告事項については、特に異議なく了承された。

10) 地方連絡委員会（落合 和徳副理事長） 特になし

Ⅲ. 理事会内委員会報告並びに関連協議事項

1) 広報委員会（嘉村 敏治委員長）

(1) 会議開催

10 月 20 日、第 2 回広報委員会・情報処理小委員会合同委員会を開催の予定である。

- (2) 本会ホームページ会員専用ページに掲載のグラクソ・スミスクライン株式会社のバナー広告について、9 月 1 日から 1 年間の掲載延長が決定した。

以上、広報委員会報告事項については、特に異議なく了承された。

2) 未来ビジョン委員会（吉村 泰典委員長）

9 月 30 日に第 2 回未来ビジョン委員会を開催予定である。

以上、未来ビジョン委員会報告事項については、特に異議なく了承された。

3) 震災対策・復興委員会（岡井 崇委員長）

7 月 27 日に開催された第 1 回震災対策・復興委員会の議事録を作成した。 [資料：震災対策 1]

以上、震災対策・復興委員会報告事項については、特に異議なく了承された。

4) 診療ガイドライン委員会（吉川 裕之学会側調整役）

「産婦人科診療ガイドライン—産科編 2014、婦人科外来編 2014」の作成のための意見募集を会員ホームページに掲載した。

(1)産科編委員会（水上 尚典委員長）

- ①「産婦人科診療ガイドライン—産科編 2008」頒布状況について
8月31日現在、入金済11,943冊、後払希望0冊。
- ②「産婦人科診療ガイドライン—産科編 2011」頒布状況について
8月24日現在、入金済9,666冊、後払希望162冊。

(2)産科編評価委員会（海野信也委員長）

(3)婦人科外来編委員会（八重樫伸生委員長）

「産婦人科診療ガイドライン—婦人科外来編 2011」頒布状況について
8月24日現在、入金済8,894冊、後払希望121冊。

(4)婦人科外来編評価委員会（峯岸 敬委員長）

以上、診療ガイドライン委員会報告事項については、特に異議なく了承された。

5)コンプライアンス委員会（平松 祐司委員長） 特になし

6)医療改革委員会（海野 信也委員長）

厚生労働省医政局指導課より、医療計画の見直し等に関する検討会で進められている「周産期医療の体制構築に係る指針」の見直しについて、意見の提出依頼が送られてきた。現在、医療改革委員会委員に意見を募っている。〔資料：医療改革1〕

以上、医療改革委員会報告事項については、特に異議なく了承された。

7)男女共同参画・女性の健康週間委員会（竹下 俊行委員長）

(1)会議開催 なし

(2)地方学会担当市民公開講座について〔資料：男女共同1〕

(3)平成23年度「女性の健康週間」展開案について〔資料：男女共同2〕

(4)平成23年度新専門医に「産婦人科医師の就労状況についての調査」を実施の予定である。
〔資料：男女共同3〕

以上、男女共同参画・女性の健康週間委員会報告事項については、特に異議なく了承された。

8)若手育成委員会（齋藤滋委員長）

(1)「第5回産婦人科サマースクール in 美ヶ原」

8月6日（土）7日（日）の二日間にわたり長野県・美ヶ原温泉「ホテル翔峰」にて開催し、参加者309名（医学部学生4年生1名・5年生38名・6年生35名、初期研修医1年目112名・2年目121名、後期研修医2名）の参加、委員・講師92名の参加を得て盛会裡に終了した。

(2) 来年のサマースクール会場について

東北6県の会員から東北地方での開催要望があり、8月18日齋藤 滋委員長、金内優典主務幹事、永瀬 智教育委員会主務幹事でホテルメトロポリタン盛岡の下見を行った。
それを踏まえて小西理事長と齋藤委員長で協議を行い、平成24年8月11日、12日に盛岡で開催されることになった。

(3) 会議開催

①9月30日に第2回若手育成委員会を教育委員会と合同で開催する予定である。

以上、若手育成委員会報告事項については、特に異議なく了承された。

9) 臨床研究審査委員会 (星 和彦委員長) 特になし

10) 医療安全推進委員会 (岡井 崇委員長) 特になし

以上

資 料

第2回常務理事会議事録(案)

第3回常務理事会通信会議内容

協議1:「第1回 産科医療補償制度 再発防止に関する報告書」に記載されている「学会・職能団体に対する要望」について(依頼)

協議2:日本病理学会からの申し入れ

協議4:これからのエネルギー政策の方向性について

総務1:子宮頸がん予防ワクチンの公費助成継続と4価HPVワクチンの追加に関する要望書

総務1-1:不妊治療関連新聞記事

総務2:インフルエンザHAワクチンの用量変更に係る周知依頼について

総務3:母子健康手帳改正に関する検討会開催要綱(案)

総務3-1:子宮がん等ワクチン接種緊急促進事業の対象ワクチンの追加について

総務4-1:妊娠期からの妊娠・出産・子育て等に係る相談体制等の整備について

総務4-2:妊娠・出産・育児期に養育支援を特に必要とする家庭に係る保健・医療・福祉の連携体制の整備について

総務4-3:日本医学会・日本医師会の合同公開フォーラム

総務4-4:第141回日本医学会シンポジウム

総務5:妊産褥婦死亡時における解剖についての要望

総務6:予防接種の公費助成に関する要望書

総務7:平成23年度第8回ヘルシー・ソサエティ賞候補者推薦のお願い

総務8:子宮頸がんワクチン「サーバリックス」初回接種再開に伴う供給について

渉外1:FIGO Chien-Tien Hsu Fellowship in Gynaecologic Oncology

社保1:外保連ニュース号外「東日本大震災への取り組み Part1」

専門医1:専門医研修施設訪問調査について

倫理1:聖マリアンナ医科大学への回答

震災対策1:第1回震災対策・復興委員会議事録

医療改革1:周産期医療の体制構築に係る指針について

男女共同参画1:地方部会担当公開講座一覧

男女共同参画2:平成23年度女性の健康週間展開案について

男女共同参画3:「産婦人科医師の就労状況についての調査」ご協力をお願い

以上